

第2節 洪水による災害の発生防止又は軽減に関する事項

鑄川圏域内における過去の大きな水害は、昭和22年のカスリーン台風、昭和23年のアイオン台風、昭和24年のキティ台風による洪水を始めとし、近年においては昭和49年、昭和57年、昭和58年、平成10年、平成11年、平成13年等で洪水による床上浸水を伴う水害が発生している。特に昭和57年の台風10号による洪水は、床上床下合わせて156棟の家屋や17.3ヘクタールの農地が浸水するなど多くの被害が発生し、圏域内に住む人々の記憶に残るものとなっている。

鑄川圏域における治水事業としては、昭和29年頃から洪水氾濫のあった支川を中心に事業が実施され、長根川、庭谷川、大牛川、大沢川、南牧川など河川改修事業が完了している。また、鑄川沿川の治水対策として平成4年度に道平川ダムが、大仁田川沿川の治水対策として平成13年度に大仁田ダムが完成した。さらに市街地内を流下し過去において幾度となく洪水被害が発生している高田川は、昭和63年度から改修事業に着手し平成15年度に改修が概成している。

このような治水施設の整備により大きな水害は減少しているものの、鑄川本川下流部や支川蚊沼川などでは、未だに浸水被害が発生しており、浸水被害軽減のための治水事業が今後とも必要である。近年における鑄川流域内の被害状況は、表2-1のとおりである。

表 2 - 1 近年の箇川流域の水害

発生年月日	原因	雨量 (mm)	全壊流出 (棟)	半壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)	農地浸水 (ha)	宅地等浸水 (ha)
S56.6.22 ~ 7.16	豪雨、台風5号	82				7	3.8	2.3
S56.8.21 ~ 8.23	豪雨、台風15号	237	1			18	2.0	2.8
S57.7. 5 ~ 8. 3	豪雨、台風10号	190		1	14	142	17.3	4.8
S58.9.16 ~ 9.26	豪雨	141	1		1	61	0.7	1.3
S60.5.27 ~ 7.24	豪雨、台風6号	120		1				0.1
S63.8. 9 ~ 8.31	豪雨	175				60		1.8
H 1.7.24 ~ 8. 7	豪雨	114				7		3.1
H 1.8.24 ~ 8.28	豪雨、台風17号	72				1		0.3
H 3.8.27 ~ 9.1	台風14号	88				1		0.01
H 7.6.13 ~ 6.18	梅雨	29				50		0.3
H10.9.14 ~ 9.18	豪雨、台風5号	226	1		2	94	0.4	0.9
H11.8.10 ~ 8.20	豪雨	329		6	14	24		0.4
H13.9. 8 ~ 9.12	豪雨・台風15号	333			10	49	0.1	0.7
H14.7. 8 ~ 7.12	梅雨・台風6号	156				1		0.01

- 1 . 雨量は、国土交通省管轄下仁田観測所の2日雨量
- 2 . 被害は、水害統計（国土交通省河川局）